

## 予算等審査特別委員会における主な議案質疑

(3月7日、8日、11日、13日、14日、15日、18日、22日開催)

### 議案第17号

#### 教育委員会教育長の給料月額の特例に関する条例の制定について

**Q** 特別職報酬等審議会と条例にあるが、現在欠員状態である。その中でこの10%減額というのは、どのような形で提案したのか。

**A** 条例上、特別職の報酬等審議会にかかる必要はあると思います。市長は、政策的なものであること、在任中のみで恒常的なものではないことから、審議会に諮問はしない考えと伺っております。

**Q** 市長政策との理由だけで報酬をカットするのは、いかがなものかと思う。財政部署での予算編成では、市長とこの件についてどのような協議をしたのか。

**A** この議案を出すのは、今回が初めてではありません。これまで何回も同じ議案を出しております。今まで否決されている過程の中で今回もこの議案を出すことから、市長と協議はしていません。

### 議案第18号

#### かすみがうら市職員の給与の特例に関する条例の制定について

**Q** 国が7月から求めている地方公務員の給与削減とは、関係ないのか。

**A** 市長は、行財政改革の一環で職員給与削減をするとのことですが、国の動向は関係ありません。

**Q** 市長は、無駄が多いのは人件費だけではないと発言している。そのような発言をしては、市職員が一丸となって行政運営をやっていけるわけがない。人件費は無駄との考えか伺う。

**A** 無駄という発言をどういう意味に解釈するかです。違う言い方もあると思いますが、いずれにしても削減対象にするという意味です。

**Q** かすみがうら市の財政は、健全財政の枠の中に入っている。決して逼迫、黄色い信号が点滅しているわけでもない。職員給与を引き下げることによって、どのような効果があるのか。

**A** 歳出総額を削減でき、より必要な分野に振り向けることができるという考えです。

**Q** 平成18年度と比べると、職員数が100人近く減っている。人件費では4億円削減されている。そういう点では市長の目的は達したのではないか。

**A** 事務事業を全部見直し、削減できるものは削減をして必要な分野に回すというのが私の理念です。そういう意味では、今のかすみがうら市の職員人件費は、まだまだ高いという認識です。

**Q** 市長は、給与削減により職員に悪い影響が出るのは当たり前との発言をしている。給与削減によるモラル低下・やる気喪失、職員数減少による業務負荷といったことも考えられるが、こうした影響に対する対策はしているのか。

**A** 経営者として、仕事が滞ってしまうようなことはできません。そろそろ限界かなということで、平成25年度は新規採用を行いました。また、組織の見直し等で対応しているつもりです。

## 議案第21号

### かすみがうら市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について

**Q** 中学生までの医療費無料化は、昨年の議会修正可決により平成25年1月から実施になったばかりである。その実績も把握せず、なぜ外来自己負担の廃止、支給制限の一部廃止といった提案をするのか。

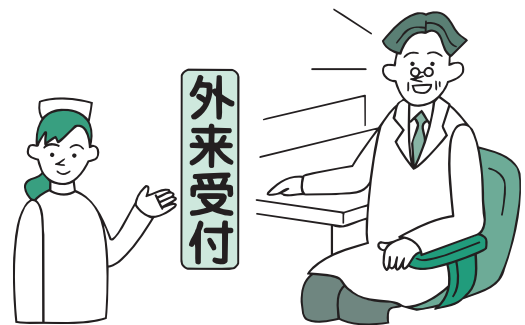
**A** 実績がまだ出ていない状況ですが、市長公約ということで提案をさせていただきました。

**Q** 市長は、外来自己負担金の助成については多受診を防ぐために廃止すると発言している。実際、多受診の傾向があるのか伺う。

**A** 実態については、まだ把握できておりません。

**Q** 担当部署では、費用対効果をどのように捉えていますか。

**A** 現在は所得制限がありますが、医療費無料化が中学3年生まで拡大になってよかったとの声はあります。一方、市の財政を一部圧迫しているのではとも感じております。



## 議案第23号

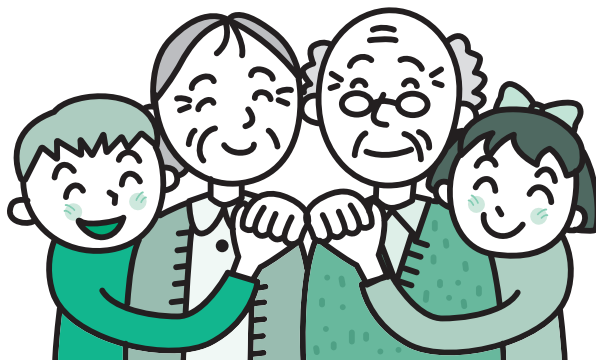
### かすみがうら市敬老祝金給付条例を廃止する条例の制定について

**Q** 敬老祝金を廃止して敬老祝品にするとのことで非常に極端であると感じるが、変更にした経緯について伺う。

**A** 目的の一つとして、敬老祝金の総額的な支出を抑えるということが考え方の中には入っております。平成25年度は1人当たりの上限を2千円として検討することになっており、市長に確認をしたところ品物の方がいいんじゃないかとの指示を受けました。そのため敬老祝品という形となりました。

**Q** 市長の政策的なこととの理由で580万円から116万円に予算を削減。高齢者の長寿を祝うという気持ちが人道的に欠けているのではないか。

**A** 長寿を祝福するとの考え方に変わりはありません。ただ、今回は敬老祝品とした際の市長の考えです。



## 議案第31号

### 平成25年度かすみがうら市一般会計予算

**Q** 災害見舞金等支給事業費が若干増額となっているが、その理由は。

**A** 東日本大震災によって住宅等に被害を受けた方が資金を借りた場合には、利子補給をしております。平成24年度当初予算時の件数は17件で、年度末で27件と増えております。そのため平成25年度は、新規者を含めて30件分を予算計上しております。

**Q** 固定資産適正評価事業における、不動産鑑定評価委託の内容について伺う。

**A** 固定資産の評価替えが3年に1回あり、平成25年度がその年とことから予算計上しました。

**Q** 農地・水・環境保全向上対策事業における、農地・水保全管理支払交付金の内容について伺う。

**A** 共同活動支援交付金として、農地や水路等の基礎的な保全管理を支援するもの。向上活動支援交付金として、農道や水路の補修等、施設の長寿命化を支援する内容となっております。

**Q** 有害鳥獣対策について、平成25年度の計画は。

**A** 霞ヶ浦地区では、カモが1回、カラスが2回で、千代田地区はイノシシが3回、カラスが1回を計画しております。

**Q** フラワーロードを管理する人が年々減っているが、その対策は。

**A** 空き花壇を少なくする努力はしておりますが、現状として毎年増えております。今後は、無理にボランティアを募るのではなく、空き花壇にはアベリアを随時植えていくことで、緑化推進協議会にも了解をいただいております。



▲フラワーロード

**Q** 商工振興事業における住宅リフォーム補助金については、かなり実績が上がっていると聞いているが、予算増額は考えなかったのか。

**A** 平成23年度が60件、平成24年度が58件の補助をしております。ここ2年間は、年度末の時点で補助額が予算額500万円となった経過も踏まえ、前年度と同額で対応できるものと判断いたしました。もし、年度内の早い時期に予算額が不足した場合には、補正で対応する考えです。



**Q** 平成25年度から各小中学校にミストシャワーを設置することだが、予算措置の確認と対応について伺う。

**A** 1カ所5,000円程度で設置できると試算しており、各学校に配分する消耗品費で対応できると考えております。各学校には、シーズン前に取り組みを周知して対応いたします。